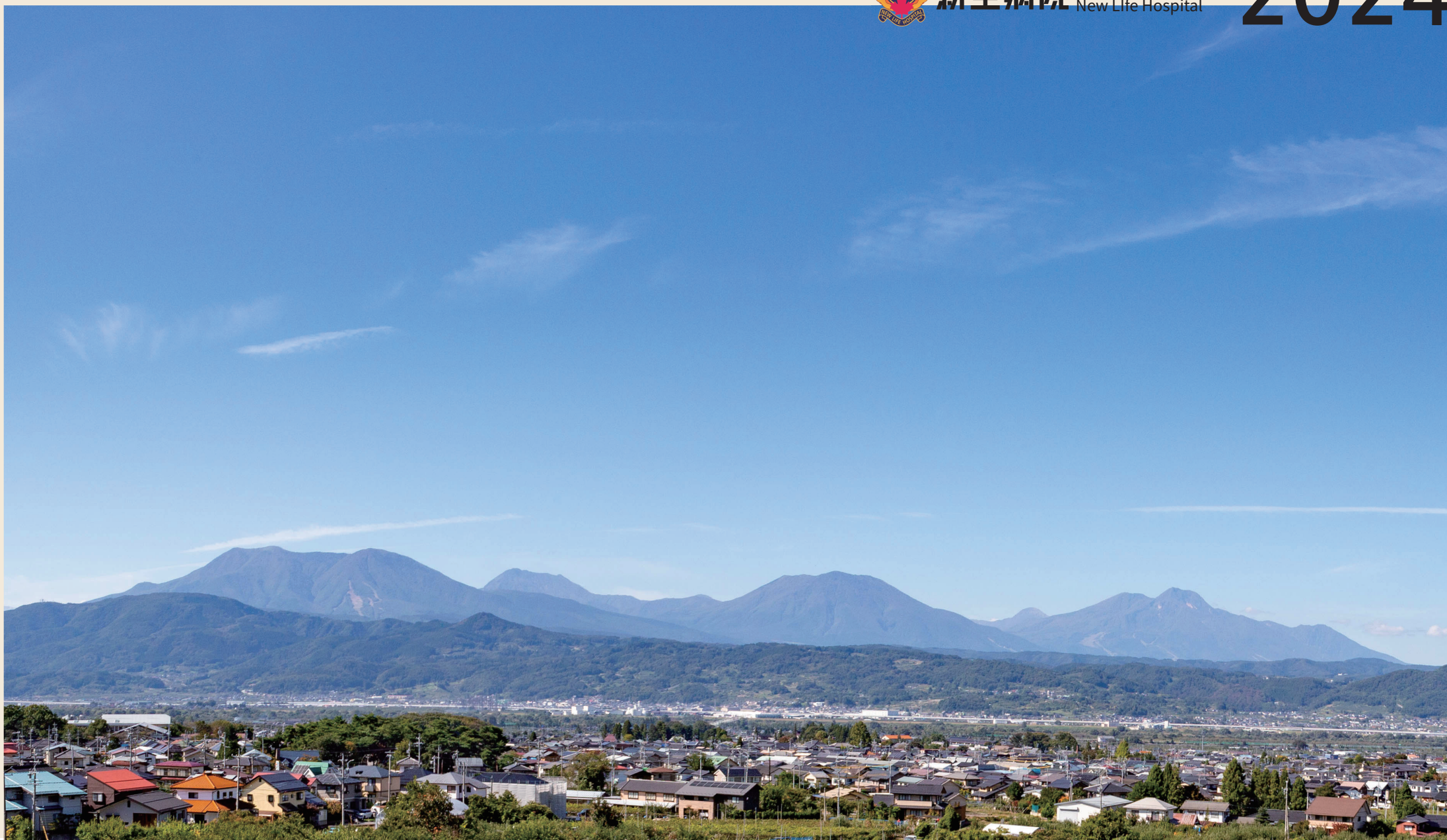




特定医療法人

新生病院 総合レポート  
New Life Hospital

# 2024





## 病院長メッセージ

2025年4月に院長に就任しました。日頃より支えてくださる地域の皆さま、連携してくださる医療・介護の関係機関の皆さまに心より御礼申し上げます。新生病院のVision『日本でいちばん病院らしくない病院～わたしのままでいられる場所～』と、Values『なからシップ』『おらち』『みんなまるごと幸せ』を道しるべに、住み慣れたところで暮らし続け、人生のさいごまで自分らしく過ごせる医療・ケア・介護を届ける病院を目指します。この一年は小布施見にマラソンで救護班を担当し、小布施町民運動会に参加して、地域行事を支える一員として現場に立ちました。10月の病院祭はあいにくの雨でしたが、多くの方に足を運んでいただき、温かな声に励まされました。目立たないところこそ丁寧に——小さいながらも売店を充実させ、入院中の方だけでなく外来の患者さんやご家族がホッと一息つける場も整えています。在宅医療の充実とともに地域包括ケア・回復期リハ・療養・緩和ケア病棟をつなぎ、在宅療養支援病院の役割を果たします。『新生病院に來れば安心』と願っていただけのように、日々の業務に加えてスタッフ一人ひとりが学び続け、チームで力を高めてまいります。

病院長 青木 昭子

# 基本理念

わたしたちはキリストの愛と精神にもとづき医療を通して  
すべての人々に仕えます。

キリストの教えと行いに学び、「全人医療」を実践します。

すべての人々に、人や人種による差別なく、

小布施という「地域」の中から「世界中」の人々に。

キリストの精神である「仕える」ことによって「新たな生」がはじまります。





2025.4 START

# Vision ありたい姿

## 日本でいちばん病院らしくない病院 ～ わたしのままでいられる場所 ～

新生病院に“患者さん”はいません。

新生病院には“職員”もいません。

そこにいるのは、かけがえのないひとつの人生を歩む、ひとりの人。

そのままのわたしが尊ばれる医療であり、

職場であること。

わたしたちはこれまでの病院の「当たり前」を問いなおし、

人が、その人らしくいられる場所を創造します。

2025.4 START

# Values

価値観

## “ なから ” シップで最善を尽くそう

プロフェッショナルとして何が正しく、何が最善かを考え続ける。  
あらゆる人と繋がって、その人にとっての“ちょうどいい”を作り込む。  
“なから”の精神を胸に、その人の最善のために行動しよう。

## “ おらち ” のような場をつくろう

「病院だから」ととらわれずに、ふだん通りの一日を大切にできる病院。  
「おかえりなさい」で迎えられるような、あったかくて、  
ここちよい空気に満たされた場所をつくろう。

## みんなまるごと幸せになろう

過去から現在、そして未来へ。  
あらゆる垣根を超えて、すべての人が関わりを通じて、  
いまを生きる喜びに感謝できる場。  
いきいきと自分らしく輝けるコミュニティホスピタルをともにつくろう。  
笑顔をつないで地域まるごと幸せにしよう。



## 数字で見る新生病院

### 病床稼働率



内訳

地域包括ケア病棟  
2023年：95.0%  
2022年：87.4%  
2021年：76.7%  
**97.8 %**

回復期リハビリテーション病棟  
2023年：96.6%  
2022年：93.8%  
2021年：86.3%  
**98.3 %**

療養病棟  
2023年：94.6%  
2022年：90.8%  
2021年：84.4%  
**98.6 %**

緩和ケア病棟  
2023年：84.9%  
2022年：83.6%  
2021年：73.0%  
**90.0 %**

### 在宅患者数

**557** 人  
2023年：548人  
2022年：464人  
2021年：388人

内訳

居宅患者数 **227** 人  
2023年：237人  
2022年：215人  
2021年：158人

施設患者数 **330** 人  
2023年：311人  
2022年：249人  
2021年：230人

### 在宅看取り数

**201** 人  
2023年：193人  
2022年：184人  
2021年：166人

### 訪問リハビリテーション利用登録者数

**312** 人  
2023年：300人  
2022年：290人  
2021年：290人

### 延べ外来患者数

**20,982** 人  
2023年：24,460人  
2022年：28,115人  
2021年：29,648人

### 職員数

**336** 人

内訳

常勤 **260** 人

非常勤 **76** 人

### 医師

**27** 人

### 看護師

**98** 人

摂食・嚥下障害看護認定看護師・・・1名  
緩和ケア認定看護師・・・1名  
感染管理認定看護師・・・1名

### リハビリ職

**73** 人

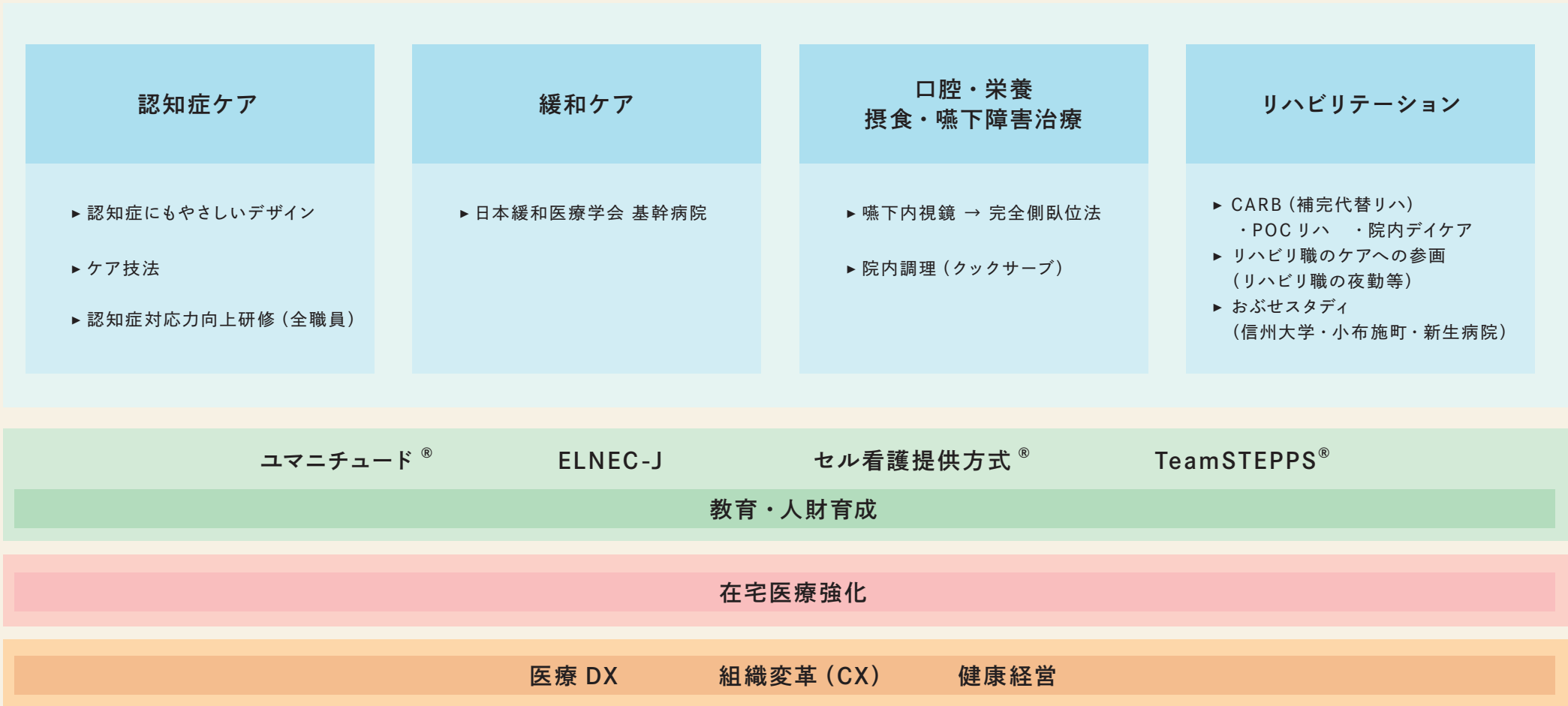
### 介護福祉士

**23** 人

(2025年4月1日現在)

## 病院だけでなく地域（コミュニティ）のどこにいても 受けられる質の高いエンド・オブ・ライフケア

### 地域・病院



## 認知症ケア

認知症ケアの質の向上を目的とした研修及び学会への参加、尊厳を重視した認知症ケア技法=ユマニチュードの導入・推進に取り組んだ。「認知症 AR 体験」、ユマニチュード学会参加、ユマニチュード全体研修、ユマニチュード基礎研修を開始した。

認知症ケア講座、認知症介護実践リーダー研修等への参加、実践

知識・技術の向上、認知症患者対応力の強化

- \* 認知症認定看護師…1名
- \* 看護認知症対応力研修…30名
- \* 認知症介護実践者研修…3名

ユマニチュードの導入

IGM-Japon 合同会社主催の基礎研修、ユマニチュード学会へ参加した。2月には、全職員を対象とした研修会を実施し83名が参加した。2025年5月も開催予定である。



認知症に配慮した病室・デザインの導入

認知症患者に配慮したデザインの導入として、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟の照明とトイレのデザインを改修した。これにより、患者の安全性と快適性を向上させ、認知症患者に優しい環境を整備した。



## 緩和ケア

ELNEC-J 研修

全職員の緩和ケアに対する認識、基礎知識力向上のため ELNEC-J 研修を実施。看護師以外にリハビリスタッフも積極的に参加した。2025年度は自施設での実施に向けて、ELNEC-J 指導シニア研修へも緩和ケア認定看護師が参加し準備を進めた。

チームラウンド

医師、看護師、リハビリ療法士、薬剤師を交えて週一回実施した。

学習会

緩和ケアチームに加えてリンクナース対象の学習会を月に一度実施。また、全職員を対象とした「緩和ケア学習会」を1回/月で実施し、学びを深めた。



## 口腔・栄養管理 / 摂食・嚥下障害治療

### スタッフの技術向上

- ・ 福村認定看護師によるリンクナース研修を実施した。
- ・ 摂食嚥下 ZOOM 勉強会 2 回 / 月
- ・ リハビリ課主催完全側臥位実習研修



## リハビリテーション

### 時間、単位、場所に縛られない CARB(補完代替リハ)の実施

POC (Point of Care) リハを回復期リハビリテーション病棟で実施。早番リハビリスタッフを配置し、実際の病棟生活へ介入(朝の着替えや整容動作)。その人の能力を最大限に高める取り組みを継続している。

### リハビリ職員のケア参画

『地域包括ケア病棟における療法士の夜勤有用性および必要性の検討』を院内成果発表会にて報告。看護師視点で夜間に療法士が携わることが必要であるとする項目は①夜間から早朝にかけて自室内歩行評価、②トイレ内動作評価、③更衣動作介助量の日夜変動評価であった。

### リハビリ栄養

(適切なリハビリ量を提供する為に)

体組成計を使用して、入院患者の筋肉量や栄養状態を評価。回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟の入院患者をランダムに計測した。計測した患者の 8 割がサルコペニアであった。



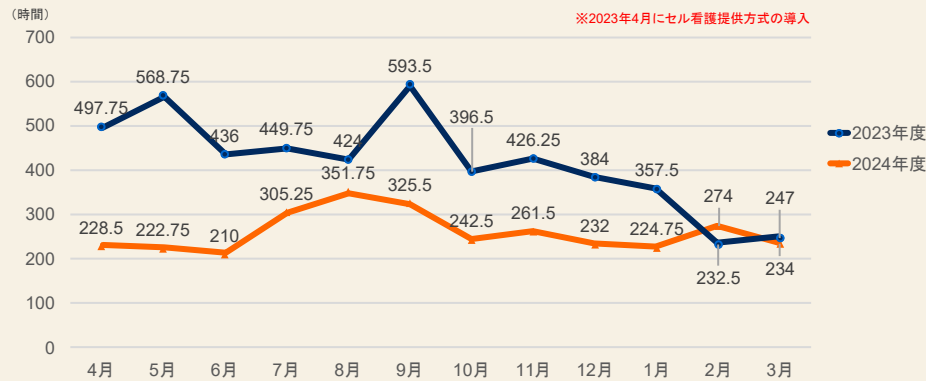
## 人財マネジメント

### セル看護提供方式の導入

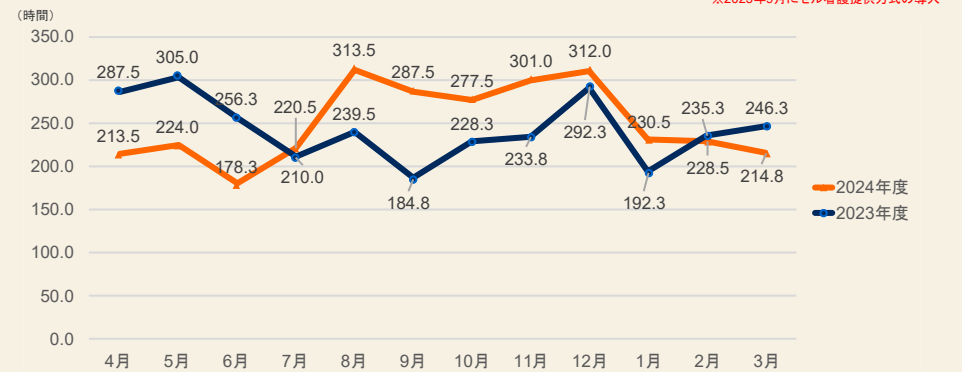
セル看護提供方式@の導入とモバイル端末導入等により業務効率化を図り、看護師の時間外勤務削減を行った。2023年に回復期リハビリテーション病棟と地域包括ケア病棟で導入し、2024年度4月に療養病棟、9月に緩和ケア病棟で一部導入をスタートさせた。



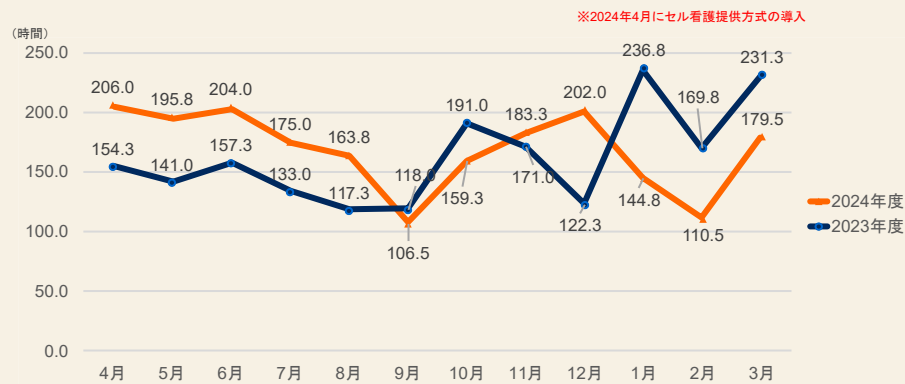
地域包括ケア病棟（2階）



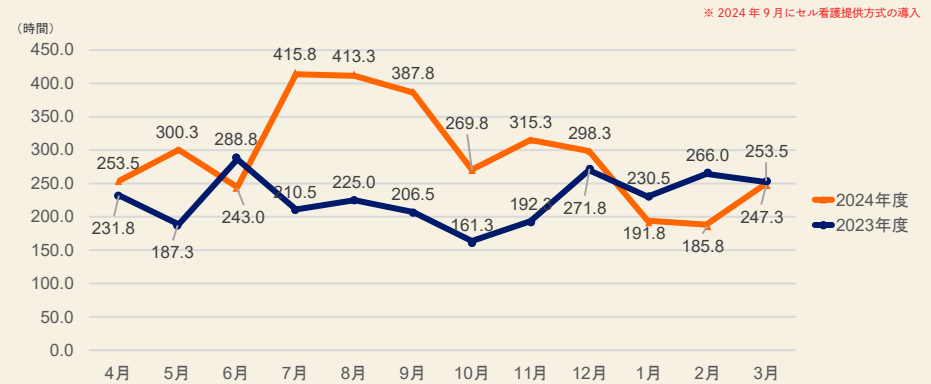
回復期リハビリテーション病棟（3階西）



療養病棟（3階東）



緩和ケア病棟（4階）



TeamSTEPPS<sup>※</sup>

チームステップスへの理解をより深めるため、研修会を実施。他職種間で連携しながらグループワークを行い、チームワークの重要性などを学んだ。

※ 医療の質向上と患者安全を目的とした、チームワークシステム。  
リーダーシップ、状況モニタリング、相互支援、コミュニケーションの4つの要素を重視し、医療従事者間の協力体制を強化し、患者安全を向上させることを目指す。



看護師・介護士・療法士採用強化

病棟勤務の看護師3名の業務の様子や想いに焦点を当てた動画のほか、看護局長へのインタビュー、在宅医療を利用したご家族のインタビュー動画の計5本を作成。入職希望者へ当院の求める人財について共通の認識を持ってもらうほか、病棟内の様子や取り組みを知ってもらい、急性期病院からの転職の際に多く見られる入職後のギャップの軽減等を図った。動画は、主にホームページやLINE公式アカウントを通じて配信し、転職の仲介業者を経ず直接応募を募った。

動画はこちらから



## 組織システムマネジメント

健康経営優良法人 2025（大規模法人部門）認定取得



### ICT、AI、IoT 等の活用による業務効率化の推進

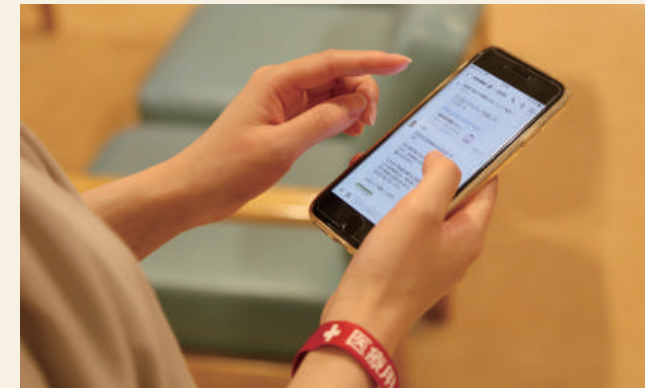
- ▶ スマートベッド等の導入
- ▶ 各病棟のナースコール

全病棟にベッドを先行して導入し、11月上旬にかけスマートベッド用モニターなどを導入。

- ① ベッドサイドにモニターを新設。患者の介助の有無やアレルギー情報等さまざまな情報が可視化され、電子カルテにアクセスせずに情報共有が可能になる。
- ② ベッド内にセンサーが内蔵され、患者のベッドでの状況（臥床、端座位、離床など）がリアルタイムで把握できる。これによりフットコールが不要になり、離床時など患者ごとに設定した状況に応じたアラームが業務用スマートフォンに届き、迅速な対応につながる。
- ③ 日々実施しているバイタル測定作業について、測定後に測定器をスマートフォンにかざすだけで入力が行われる。入力ミスがなくなり、入力の手間も削減できる。

### 各種 DX 推進

- ▶ 職員及び患者用の全館完全 Wi-Fi 環境整備
- ▶ AI 画像診断システムの整備
- ▶ 読影業務を支援し、疾患の見落とし防止や読影精度の向上だけでなく、読影時間の削減などの業務効率化につながっている。
- ▶ ニュートンズモバイル導入（スマートフォンからオーダーに対する実施入力やカルテの参照・記載などが行えるシステム）



## 財務情報

## 貸借対照表

科目	第 39 期 (R4)	第 40 期 (R5)	第 41 期 (R6)
	円	円	円
<b>【資産の部】</b>			
流動資産	1,075,547,633	1,018,132,536	1,022,270,296
現金及び預金	599,198,165	553,683,634	546,041,471
医業未収金	407,546,162	407,960,377	418,363,208
未収金	22,502,178	9,626,766	13,928,938
薬品	15,143,796	13,650,951	16,773,040
診療材料	3,551,723	3,373,011	5,082,184
貯蔵品	9,707,036	6,226,834	8,423,485
貸付金	12,591,321	13,041,321	7,725,000
その他流動資産	5,307,252	10,569,642	5,932,970
固定資産	1,291,730,683	1,354,114,578	1,436,237,063
建物	795,529,007	762,662,676	736,947,340
建物付属設備	207,128,784	225,229,650	294,391,651
構築物	20,836,621	18,270,545	33,610,414
医療機械	18,131,292	14,112,268	23,404,004
器具備品	64,715,667	80,412,039	85,104,220
土地	101,615,012	103,265,012	103,265,012
リース資産	36,335,079	107,478,651	128,450,197
ソフトウェア	6,383,221	4,030,422	4,335,822
長期貸付金	26,416,459	24,227,143	9,820,018
その他固定資産	14,639,541	14,426,172	16,908,385
繰延資産	755,251	1,040,894	1,456,988
資産合計	2,368,033,567	2,373,288,008	2,459,964,347

科目	第 39 期 (R4)	第 40 期 (R5)	第 41 期 (R6)
<b>【負債の部】</b>			
流動負債	388,737,933	396,782,622	461,784,772
買掛金	47,657,390	47,690,588	57,753,031
短期借入金	58,000,000	58,000,000	68,000,000
未払金	5,974,760	9,018,758	35,705,830
未払費用	151,671,161	166,198,625	189,390,859
賞与引当金	105,808,856	93,630,528	100,000,000
その他流動負債	19,625,766	22,244,123	10,935,052
固定負債	737,763,140	729,835,960	747,966,130
長期借入金	699,371,300	619,787,500	575,405,000
リース未払金	37,311,516	110,048,460	129,084,488
長期割賦払金	1,080,324	-	43,476,642
負債合計	1,126,501,073	1,126,618,582	1,209,750,902
<b>【純資産の部】</b>			
資本金	492,716,537	492,716,537	492,716,537
剰余金	748,815,957	753,952,889	757,496,908
(うち当期利益)	(△ 54,703,295)	(△ 5,136,932)	(△ 3,544,019)
純資産合計	1,241,532,494	1,246,669,426	1,250,213,445
負債・純資産合計	2,368,033,567	2,373,288,008	2,459,964,347

### 損益計算書

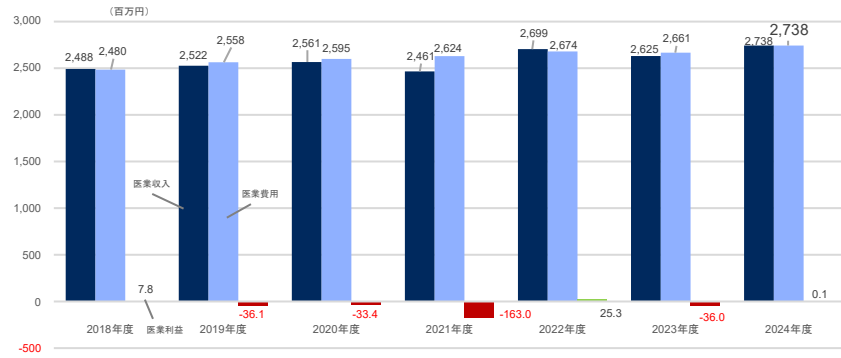
科目	第 39 期 (R4)	第 40 期 (R5)	第 41 期 (R6)
( 経常損益の部 )			
入院診療収益	1,747,134,053	1,745,884,057	1,868,997,514
外来診療収益	558,005,082	538,969,730	520,702,027
保健予防活動収益	93,170,957	93,811,643	96,020,534
受託検査・施設利用	149,936	174,592	112,640
室料差額収益	26,198,589	26,021,560	35,184,217
その他の医業収益	276,011,925	222,003,672	218,014,947
査定	△ 1,398,887	△ 4,002,489	△ 1,225,766
医業収入 計	2,699,271,655	2,624,862,765	2,737,806,113

### 経営管理指標の概要

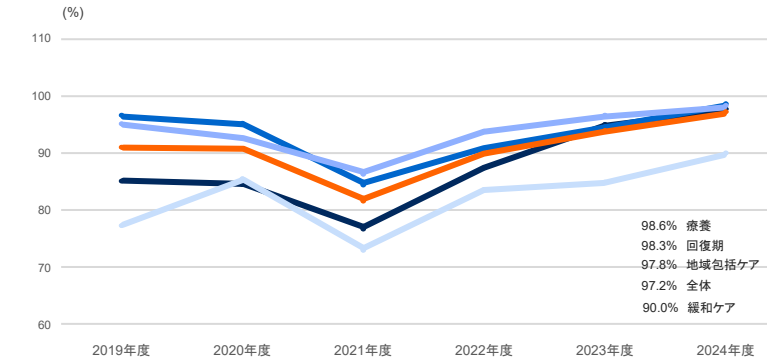
項目	計算式	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
医業利益率	$\frac{\text{医業利益}}{\text{医業収入}} \times 100$	-1.3	-6.6	0.9	-1.4	0.0
総資本医業利益率	$\frac{\text{医業利益}}{\text{総資本}} \times 100$	-1.5	-6.9	1.1	-1.5	0.0
経常利益率	$\frac{\text{経常利益}}{\text{医業収入}} \times 100$	0.8	0.4	2.8	1.02	.1
病床利用率	$\frac{\text{1日平均入院数}}{\text{許可病床数}} \times 100$	90.8	81.6	89.9	94.2	97.2
固定費比率	$\frac{\text{固定費}}{\text{医業収入}} \times 100$	80.9	3.87	5.07	6.1	75.7
人件費比率	$\frac{\text{給与費}}{\text{医業収入}} \times 100$	68.2	71.1	64.46	4.6	63.5
設備関係費比率	$\frac{\text{設備関係費}}{\text{医業収入}} \times 100$	12.4	12.5	10.4	11.3	12.1
自己資本比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総資本}} \times 100$	54.3	50.3	52.4	52.5	50.8
固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}} \times 100$	73.7	64.6	65.36	8.57	1.9
借入金比率	$\frac{\text{長期借入金}}{\text{医業収入}} \times 100$	21.5	29.5	25.9	23.6	21.0
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	232.8	282.5	276.7	256.6	221.4

科目	第 39 期 (R4)	第 40 期 (R5)	第 41 期 (R6)
【医業原価】	2,673,963,896	2,660,835,078	2,737,716,365
医業売上総利益	25,307,759	△ 35,972,313	89,748
受取利息	456,468	757,899	624,576
受取配当金	2,010	2,010	4,010
補助金収入	23,328,147	19,298,823	7,389,180
雑収入	36,460,073	46,020,204	57,164,761
【医業外収益】			
支払利息	5,519,830	4,323,400	3,459,065
雑損失	2,037,178	331,589	3,721,119
固定資産等圧縮記帳損	2,002,000	-	-
【営業外費用】	9,559,008	4,654,989	7,180,184
経常利益	75,995,449	25,451,634	58,092,091
( 特別損益の部 )			
【特別利益】			
前期損益修正益	2,189,000	398,893	-
固定資産売却益	593,371	-	-
特別利益 計	2,782,371	398,893	0
【特別損失】			
前期損益修正損	425,000	97,789	1,000,000
固定資産除却損	22,234	6	256,990
固定資産売却損	75,591	-	-
役員退職金	-	8,800,000	-
その他臨時費用	-	-	39,560,082
特別損失 計	522,825	8,897,795	40,817,072
税引前当期利益	78,254,995	16,952,732	17,275,019
法人税事業税等	23,551,700	11,815,800	13,731,000
当期利益	54,703,295	5,136,932	△ 3,544,019
前期繰越利益	694,112,662	748,815,957	753,952,889
当期末処分利益	748,815,957	753,952,889	757,496,908

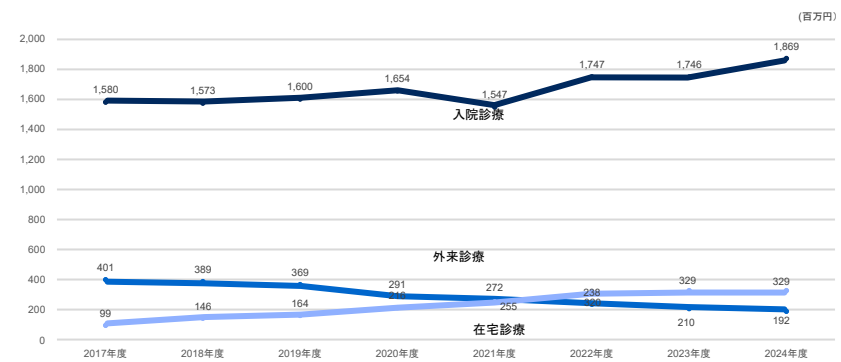
医業収支推移



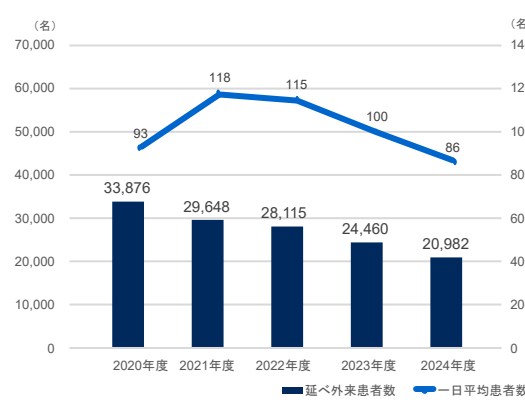
病床稼働率推移



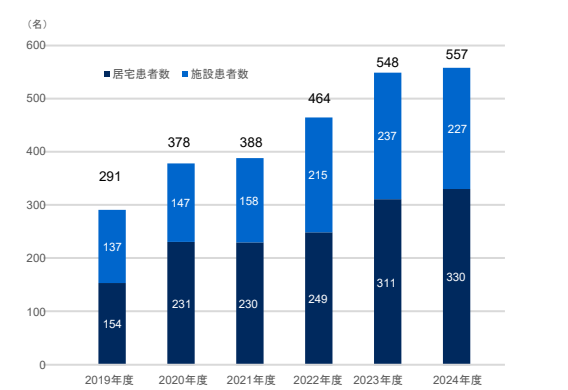
医業収支推移



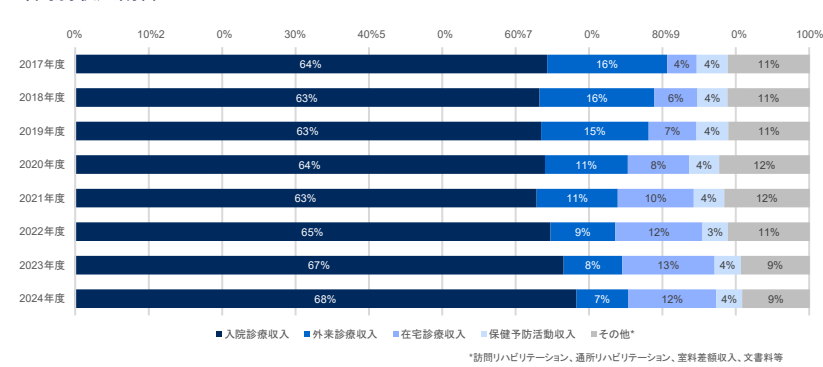
延べ外来患者数推移



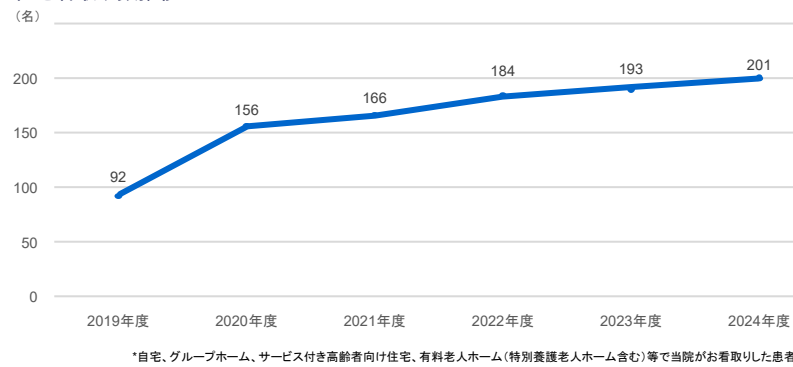
在宅療養患者数推移



部門別収入割合



在宅看取り数推移



\*訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション、薬料差額収入、文書料等

\*自宅、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム(特別養護老人ホーム含む)等で当院がお看取りした患者数



ビジョン &  
リクルートガイド 2025



### Information

特定医療法人 新生病院  
〒 381-0295  
長野県上高井郡小布施町大字小布施 851  
TEL: 026-247-2033  
URL: <https://www.newlife.or.jp>